

・派遣人数
のべ 643人・日
・災害対策用機械
のべ 138台・日

- 関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州の**36県内の484市町村とホットラインを構築**。
- 関東、北陸、中部、中国、四国、九州の**20県27市町へTEC-FORCEを派遣**。リエゾン活動、ドローン等による被災状況調査、排水ポンプ車による浸水排除などの自治体支援を実施。(一日あたり最大81人(8/15))
- 六角川水系六角川及びその周辺では、越水氾濫等による浸水被害に対し、**排水ポンプ車により浸水排除を実施**。
- 広島県北広島町では、**被災状況調査班等(6班24名)を投入**し、主に河川の被災状況調査を実施し、132件の河川の施設被害を報告。現地調査では、TECアプリを活用し、現地調査の効率化を図るとともに、自治体等へ迅速に共有。

■リエゾンによる自治体支援ニーズの把握(12県16市町へ派遣)

○自治体から支援ニーズの聞き取り、支援内容の調整、防災関連情報の提供等を実施。



自治体と支援内容の調整(佐賀県庁)



防災機関で災害情報を共有(福岡県庁)

■ドローンを駆使した迅速な被災状況の把握

○ドローンにより立入困難なエリアを安全かつ迅速に調査。現地映像を、地整災害対策本部等へリアルタイム配信



自治体へ調査映像を提供(広島県北広島町)



現地映像をリアルタイム配信(九州地整)

■防災ヘリによる広域被災調査

○土砂災害、浸水状況を調査し、調査映像を自治体等へも提供



自治体等へ調査映像を提供(佐賀県多久市)

■排水ポンプ車による浸水排除

○降雨に備えた前進配備を含め、一日最大13台派遣(8/15,16)



自治体の要請により排水活動(佐賀県大町町)

■被災状況調査

○TECアプリにより、現地調査を効率化。被災状況を迅速に共有



iTEC(TECアプリ)を活用(広島県北広島町)

○護岸損壊、河道埋塞等、132件の河川の被災状況調査を実施



首長へ調査結果報告(広島県北広島町)